

(3)－3 N T Cに関するアンケート結果

N T C企画委員会（文責 下野）

1. 概要

西九州テクノコンソーシアム（N T C）の今後の活動の参考とするために、アンケートを実施した。昨年9月にアンケート検討部会を設置し、アンケート内容や実施方法等を決めて、10月中旬～11月中旬の約1ヶ月間で実施した。

会員以外の地元企業のN T Cに対する理解を調査する目的もあり、会員だけでなく非会員企業もアンケート対象にした。アンケート用紙の配布総数は293件（会員102件、非会員191件）であった。回収率は、会員56%（57件）、非会員13%（25件）と低調であり、アンケートの実施方法等、今後の課題となった。

アンケート結果は、第5回N T C企画委員会（12月25日）で報告され、詳細に検討された。色々と貴重なデータや意見が得られており、今後の活動に生かしていきたい。

アンケート用紙はA 4用紙9ページで、質問項目も多岐に渡ったが、その一部を以下に紹介する。特に、断らない限り、会員と非会員をまとめて集計した結果を示す。

2. アンケート結果

図1にN T Cの活動に意義に関する結果を示す。91%が「活動は有意義である」と回答した。有意義でない理由として、「造船関連がメインの為」、「設立理念が明確でない」、「いかにも官・大企業的発想の展開で実際に役立つか?」、等の意見があった。情報発信を十分に行って、N T Cの活動趣旨を十分理解して頂く必要がある。

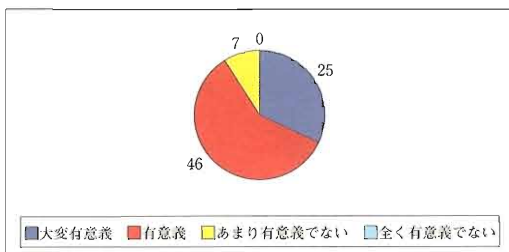


図1 NTCの活動の意義

非会員に会員でない理由を質問した結果を図2に示す。7割近くが「存在を知らない」と回答しており、N T Cに関する情報発信を十分に行っていく必要がある。

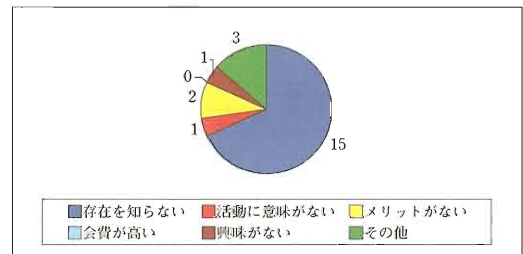


図2 会員でない理由(非会員回答)

今年度の事業計画に関するアンケート結果を図3～図7に示す。

事業計画の項目については、約85%が概ね十分であると回答した（図3）。不十分と回答した理由として、「N T Cが何をしたいのかわからない（既存事業の掻き集めの様に見える）」、「企業のニーズを取り込むことが必要」、等の意見があった。また、追加すべき事業項目として、「補助事業受託のための活動（活動資金確保のため）」、等の意見があった。

技術振興事業の中で、技術交流会については、9割が「必要である」と回答した（図4）。また、技術交流会で取り上げるべき技術分野やテーマについても多

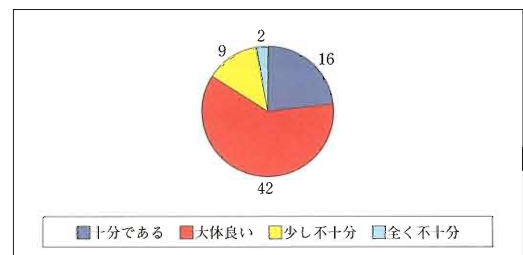


図3 NTCの事業項目

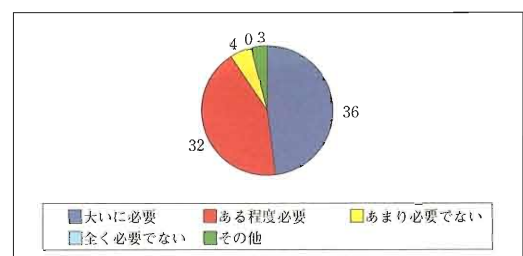


図4 技術交流会の活動